

ツキノワグマの出没にご注意ください

－令和2年度の堅果類豊凶予測調査を実施しました－

県では毎年、クマの餌資源である堅果類（ドングリ）の豊凶予測調査を実施し、県民の皆様にご注意喚起を行っています。この度、今年度調査結果が出ましたのでお知らせするとともに、それぞれの地域住民の皆様への注意喚起をお願いします。

令和2年度堅果類豊凶予測調査結果

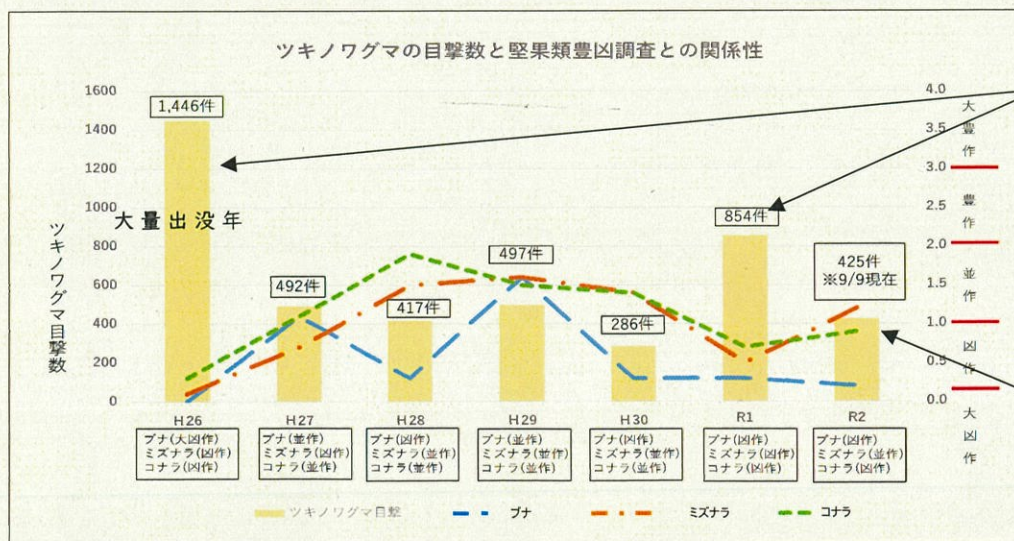
県平均 ブナ 0.2 凶作 ミズナラ 1.2 並作 コナラ 0.9 凶作

樹 種		ブナ		ミズナラ		コナラ	
地 域		着果度ランク	豊凶判定	着果度ランク	豊凶判定	着果度ランク	豊凶判定
岐阜	北部	0.0	大凶作	0.0	大凶作	－	－
西濃	北部	0.1	凶作	1.2～1.4	並作	1.0～1.6	並作
	南部	－	－	－	－	0.2～0.7	凶作
中濃	北部	1.0	並作	1.3～2.3	並～豊作	1.6	並作
	南部	－	－	－	－	0.5	凶作
東濃	東部	－	－	1.5	並作	1.1	並作
	西部	－	－	－	－	0.8～1.7	凶～並作
飛騨	北部	0.0	大凶作	0.5	凶作	0.1	凶作
	南部	0.1	凶作	1.0	並作	－	－

(参考: 昨年の調査結果 ブナ 凶作 ミズナラ 凶作 コナラ 凶作)

岐阜県全域において注意が必要です！

昨年の堅果類の豊凶予測は全ての樹種で「凶作」でした。その結果、冬眠を控えたクマが9～12月にかけて人間の生活圏に出没したと考えられます。今回の調査結果も同様の傾向を示しており、クマの出没に注意する必要があります。



堅果類豊凶調査結果が凶作、大凶作の年に多くクマが目撃される傾向にあります。

本年度は既に目撃件数が400件を超えており、大量出没年と同じ傾向を示しています。

裏面もご確認ください

ツキノワグマの特徴と人との接触を防ぐために

ツキノワグマが一度餌場として覚えてしまうと、その場に執着しなかなか離れません。またクマは明確な縄張りを持たないため、捕獲したとしても別の個体がまた来てしまいます。クマに【「ここは豊富な餌場だ」と認識させないこと】が肝心です。またクマは基本的に人を恐れ、優れた聴覚や嗅覚で人との不要な接触を避けるよう警戒しています。人身被害を未然に防止するには人が自らの存在を強調し、【クマに自分を気づかせること・クマと遭遇しないこと】も重要になります。

＜県民・市民の皆様＞

○クマを寄せ付けない工夫をしましょう。

- ・クマの移動経路となる集落周辺の草むらや藪は刈り払いましょう。
- ・クマの餌となる野菜くずや生ごみは、畑などに放置しないようにしましょう。
- ・人家周辺のカキやクリは残さず収穫しましょう。

※その地域にお住まいでない方の土地にカキやクリが残っている場合、人の手が届かず放置されてしまいます。地域ぐるみでの対応をしましょう。



＜登山、釣りなどのレジャーの際には＞

○クマの生息地である奥山はもちろん、里山等の人間の生活圏においてもクマとの突発的な遭遇を避けるよう努めてください。

- ・音で知らせる（鈴、ラジオ等音の出るものを身に付け、人がいることを知らせる）。
- ・クマは早朝、夕方に行動が盛んになると言われていますので注意しましょう。
- ・山に入るときは2名以上で行動しましょう。



＜有害鳥獣等の捕獲従事者の皆様＞

○ツキノワグマが脱出可能な機構を設けた箱わなや囲いわなを使用してください。

○ツキノワグマの錯誤捕獲の防止に一層ご注意ください。

- ・クマを誘引する餌は避けましょう。（果実やハチミツは使用しない）
- ・わなを稼働させる前に、クマの痕跡等を十分確認してください。

（痕跡等を発見した場合には、わなの設置を中止し、餌も回収してください）



ツキノワグマの前肢跡模式図

＜農林業従事者の皆様＞

○ツキノワグマを誘引する作物は残さないよう、除去するようにしてください。

皆様のご理解、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ】 ●岐阜県環境生活部環境企画課 生物多様性係

TEL：058-272-8231（直通）

●関市役所農林課 TEL:0575-23-9251（又は各地域事務所）